

【小牧市の流域治水対策】

- ・いつ起きるか分からない大雨による**浸水被害を最小限に抑制**し、市民の貴重な生命と財産を守る。
- ・市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、災害発生時に**地域が一体となって被害を最小限に抑えられる**まちを目指す。



準用河川整備



対策メニュー

短期

中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(準用河川整備(新川・小針川))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(公園等の活用を含む雨水貯留施設整備 ((仮称)第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園))
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留施設等設置補助金)
 - ・ため池等の活用(ため池の機能強化)
 - ・水田の貯留機能向上(水田利用による雨水流出抑制対策)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強(大山川排水区・薬師川排水区・下小針雨水幹線)
 - ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画策定の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
(小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進
(学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会)

【グリーンインフラの取組】

- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
 - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全
(既存ため池の嵩上げ・余水吐の改良による雨水流出抑制)
 - ・畔の嵩上げ・排水路改修による雨水流出抑制)

避難確保計画策定(R3)

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定